

九州学園報

2019.2

vol. 21

● 福岡女子短期大学 ● 福岡女子短期大学附属 野方幼稚園

特集

教員の 活動について

吉田 あかね 先生

音楽に興味がある方にもない方にも
音楽の素晴らしさを伝えたい

桑原 哲章 先生

電子オルガンの可能性を広げたい





音楽科 講師 吉田 あかね

音楽に興味がある方にもない方にも
音楽の素晴らしさを
伝えたい

FWJC

特集 教員の活動について

電子オルガンの
可能性を広げたい

音楽科 准教授 桑原 哲章



地域に密着した演奏活動

北軽井沢ミュージックホール
フェスティバル
「秋いちばんコンサート」

これは当時、私が学んだ洗足学園音楽大学の電子オルガンコース主任だった、故寺島尚彦先生の呼びかけで始まったコンサートです。そして、ここで出会ったのが寺島先生作詞作曲「ざわわ」でお馴染みの「さとうきび畑」。かれこれ20年近く電子オルガンバージョンの伴奏を担当しています。そして毎回コンサートの幕開けは、地元の浅間鬼押し太鼓と電子オルガンの共演「浅間六里ヶ原太鼓」で、こちらも2000年の発表以来、地元の方と一緒に大切に演奏しています。



お客様はほとんどがリピーターの方で、今では多くの方が「このコンサートを聴かないと夏が終わらない」とまで言うので、さとうきび畑になりました。

さとうきび畑 こんさあと

こちらも寺島尚彦先生ゆかりのスペシャルメンバーによるコンサートです。寺島先生を中心とした演奏グループ「緑陰会」は「さとうきび畑」に次ぐ曲として誕生した「緑陰」という歌にちなみ、寺島先生が命名してくださいました。「さとうきび畑」を中心とした楽曲に親しみやすい楽曲も織り交ぜて、平和の大切さ・尊さを届ける演奏会で各地で好評を得ています。

宰府の杜コンサート

今年度で8回目を迎える事ができたこのコンサートは自身の研究活動としての大事な位置づけです。電子オルガンという、まだ歴史の浅い楽器の社会的認知とアイデンティティの確立をテ



マに掲げています。独自のオーケストラサウンドを持つ電子オルガンによる伴奏、電子楽器というキャラクターを活かした、この楽器の為に書かれた作品の演奏。この両面を多くの方に知って頂きたく日々精進しています。

自身の活動を学生の指導にどの ように活かしていきたいか？

舞台上立って、感動・嬉しさ・悲しさ・落ち込み等、様々な思いの連続です。演奏のテクニックや表現は勿論ですが、これらの事も全てひたひたまで学生達に伝える事ができればと思っています。そしていつか同じ舞台上に立てる事ができれば、こんな嬉しい事はないと思っています。

地域に密着した演奏活動

日頃より、様々な演奏活動をさせていた
だいてありますが、そのほとんどが地域
や企業に密着したものとなっております。
九州唯一のプロオーケストラである九
州交響楽団への客演出演、九響楽団員
さんたちとの室内楽等、地元で活躍さ
れている方々との演奏は喜びも刺激も多
い貴重な機会です。又、デイサービスセ
ンターや公民館でのトークコンサート、三
好不動産・ヤナセ等企業とコラボした演
奏会などにも多数出演させていただいて
おります。

宰府の杜コンサート

音楽科専任教員によるコンサートで、こ
れまでに4回出演いたしました。最初の
年はソロ、翌年はチェロとのデュオ、昨年
よりピアノ四重奏などの室内楽、また新



曲の発表演奏などをさせていただいてお
ります。同じ職場の同僚である一方、そ
れぞれが素晴らしい技術をお持ちの演奏
家・作曲家である先生方との演奏会は、
改めて身の引き締まる思いです。また、
日頃指導をしている学生のお手本になら
ねばという思いも強く、毎年終演後は学
生さんからのコメントが楽しみでもあり
ます。

吉田あかねと素敵な仲間たち

自身の名前をタイトルに掲げた演奏会を
することが昔からの夢でした。友人の協
力を得て、5年前より企画した「吉田



今後の活動予定等

<https://akane-musique-piano.amebaownd.com/>

あかねと素敵な仲間たち」は、読売日
本交響楽団コンサートマスターの長原幸
太氏をはじめ、NHK交響楽団などに
所属するメンバーとの室内楽演奏会です。
現在の日本の弦楽器界を引っ張っている
と言っても決して過言ではない、トップ
クラスの彼らとの演奏は、私の室内楽へ
の概念を大きく変えてくれましたし、
毎回新しい発見ばかりです。

**自身の活動を学生の指導にどの
ように活かしていきたいか？**

私自身、先生の「指導への熱意」や「演
奏会に向かう姿勢」「演奏会での素晴ら
しい演奏」を肌で感じながら勉強してま
いりました。自分の先生方にはまだ到底
及びませんが、自身の演奏活動などを
通して学生が何かを感じ取ることがで
き、またその姿が学生の目標になるよう
願っております。

健康栄養学科

ご挨拶

平成30年度、「健康栄養学科」は「食物栄養科」から学科名称が変更となりました。50年にわたる栄養士養成の実績に、「食」と「健康」のスペシャリストを目指す教育方針を加え、1年生30名、2年生46名でスタートしました。

資格は栄養士・栄養教諭・フードスペシャリスト・家庭料理技能検定に健康管理士を加えたキャリアモデルで健康を学ぶ科目を充実させた授業になります。正課外授業は食に対する技術と知識を学び学生の自信となるカリキュラムになっています。

学外講義では1年生は学科特別研修で多くの調理を通して「食物」に対する知識・関心を深めていきます。2年生は事業所実習や病院実習、栄養教育実習の実習先訪問から、社会に通用する「栄養士」の力を蓄えていきます。

講義や学校行事と日々忙しく過ごす学生ですが、皆で助け合い勉学や研修に笑顔で努める姿が、未来の栄養士として、卒業後の活躍に期待が高まります。卒業後は病院や学校給食センター、福祉施設、食品メーカーなど様々な分野で栄養士として活動しています。また管理栄養士へのキャリアアップや卒業後3〜4年の新人栄養士研修会を開催する等、既卒者に対しても学科全体で応援しています。

健康栄養学科 学科長 福嶋伸子



「プロから学べる和洋中」講座

健康栄養学科の新たな取組として、福岡在住の有名なプロの料理人による「プロから学べる和洋中」講座を2018年8月7日〜9日に開催いたしました。

和食が世界無形文化遺産にもなり、また世界中の料理が日本に集まり、そこから日本独自の味が生まれるような高い水準を示す日本の食文化では、栄養面だけでなく、味覚や視覚にも訴える技が要求されています。

そこで、本学科の学生達がプロの料理人

新人栄養士特別講座・管理栄養士対策講座

健康栄養学科では、9月16日に卒業生を対象に新人栄養士特別講座を行いました。

内容は、本学客員教授山並辰巳シェフを講師にお迎えしてのフランス料理講習と情報交換会でした。遠くは沖縄から13名の卒業生の参加がありました。フランス料理講習では、若鶏のイタリア・ミラノ風・トマトソース、じゃがいものスープとパイナップルを使ったフルーツカッティングを体験しました。ご参加の卒業生は、保育園、病院、福祉施設などで栄養士として活躍されており、情報交換会では、仕事について多くのお話を聞かせてくれました。

また毎年、健康栄養学科では、管理栄養士国家試験対策講座を実施しています。今年度は8月26日からスタートし計8回実施しています。第1回の対策講座では、昨年の受講生で、管理栄養士国家試験に合格された卒業生（平成20年度）の有村

からその技を直に学べるよう、ホテル日航福岡の日本料理「弁慶」から和食の高松幸治先生（8月7日）、京鼎樓KITEI博多店九州地区総括料理長である中華料理の松本耕太郎先生（8月8日）、フランス料理の元シーホーク総料理長山並辰巳先生（8月9日）の3名の先生方に本学へお越しいただき、1〜2年生の学生に直々に技と味と盛り付け等を伝授していただきました。



百合恵さんを講師にお迎えし、合格体験記をお話いただきました。この講座をきっかけに、知識のみならず、試験について

での情報を収集し、管理栄養士国家試験の合格に向けて取り組んで欲しいと思います。



▲ 新人栄養士特別講座



▲ 管理栄養士対策講座

音楽科

ご挨拶

音楽科では、本年度も学生全員が出演する「第2回 未来へのコンサート」をアクロス福岡シンフォニーホールにおいて、12月6日に開催しました。学生達は、広いステージで、日頃の練習の成果を十分に発揮した演奏を堂々と披露していました。学生にとつての成長の場として、内容の充実を図りながら、今後も続けていきたいと思っております。また他に、九州国立博物館での「きゅーはくカフェコンサート」、「風早コンサート」、外部からの演奏依頼や施設へのボランティア活動等、地域に根ざした演奏活動を通して成長する学生の姿には、頼もしさを感じられます。

また、仕事としての実践力を養うために、本年度より、ヤマハやカワイ等の企業や、地域社会との連携による「音楽キャリア」という科目を新しく開講しています。

音楽科 学科長 鶴田智子

音楽科リニューアル

新しいステージがここからはじまる

本学音楽科では、太宰府、風早の丘において50年以上積み重ねてきた歴史を継承しつつ、更なる教育環境の向上を目指し、2019年春に校舎を移転・リニューアルします。



この新しい教育環境で、学生一人ひとりに合った音楽の技術力と表現力の向上を目指し、個性を伸ばす教育を行います。

グランドピアノ・アップライトピアノ・電子オルガン練習室を28部屋完備。明るく開放感があり、練習に集中して取り組みます。



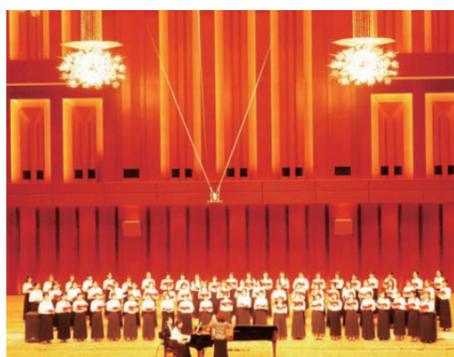
「音楽ホール」では定期的な学内演奏会や、実技試験、室内楽の授業などを行います。地域の皆様との交流の場としても活用します。



「レッスン室」は音楽を学ぶうえで一番大切な場所。学生が音楽を学び、深く理解できる最適な環境を提供します。



第2回 未来へのコンサート



日程 平成30年12月6日（木）
会場 アクロス福岡シンフォニーホール【全席自由・入場無料】
時間 第1部 12:30開場 13:00開演
第2部 18:00開場 18:30開演
内容 第1部 福岡女子短期大学 音楽科学生によるマラソンコンサート
第2部 定期演奏会（合唱、トーンチャイム、ソロ演奏）

きゅーはく カフェコンサート

九州国立博物館内のオープンカフェで、音楽科在学生・卒業生が演奏を行っています。ご来館の皆さまに、カフェでほっと息つける空間を提供しています。



日時 金曜日（不定期開催）
場所 九州国立博物館1階 エントランスホールオープンカフェ
出演者 1回目 14:00〜14:30 / 2回目 15:00〜15:30

風早コンサート



日程 平成30年6月10日（日）
会場 太宰府市文化ふれあい館



ご挨拶

文化教養学科では、文学・文化・語学・情報など幅広い教養を身につけることができるカリキュラムとなっており、授業での効果的なICT活用やアクティブラーニングを通して、女性として自立し社会で活躍できる人材を育成しています。本学科の教育課程の中で、司書資格、中学校の国語教員免許の取得が可能です。今年度からは、華道・茶道・着付けなどを実習形式で学ぶ科目もスタートし、学生の作品(生け花)は事務局の窓口などで展示しました。



文化教養学科 学科長 牧幸浩
は熊本市で、先
の熊本地震での
各施設の対応や
復興の様子を
学ぶことができ
ました。学生に
とって、災害に
どう向き合う
かを考えるきつ
かけになったと
ともに、日頃と
違った学生同
士、教員との交
流ができたと思
います。

イオンモール筑紫野でのPOP展示紹介

POPは、商品や品物を手に取ってもらうための広告として、お店でよく見かけます。また図書館や書店でも、本の内容をコンパクトにまとめた文とイラストを添えて展示しています。そこで、文化教養学科では、1年生のプレゼミナルと2年生の図書館実習の授業で手作りPOP制作を学習しています。

学園祭について



▲健康同好会



▲書道

▲ピリオバトル

第52回風早祭のテーマは「笑いらい」であり、そのコンセプトは「NO SMILE, NO LIFE」でした。学生のみならず、来場者の「笑顔」が咲き誇る学園祭にしたいとのこと。本学科からは「ピリオバトル」(高校生の部、大学生の部)や「書道パフォーマンス」(健康同好会(ダンス))の舞台発表がありました。とりわけ「ピリオバトル」は、ピリオバトル普及委員会九州地区の赤峰稔朗先生の協力の下、高校生4名と本学生4名のプレゼン大会となりました。高校生の優勝者は宮原直希さん(博多工業高等学校)、大学生は野田明季さん(文化教養1年)でした。パトラーの「本」への熱い思いが感じられると同時に、発表後のさわやかな「笑顔」が印象的でした。来年のバトルも楽しみです。

ご挨拶

本学科は、今年度より「保育学科」から「子ども学科」へ学科名を変更致しました。今まで以上に「子ども」との関わりをもった教育を行うという想いが込められています。4月には新しく4人の教員と16期生となる学生を迎え、新たな学科名・新たな体制で新しい一歩を踏み出しました。

子ども学科の教育の特徴である音楽教育では、ピアノ練習をレベル別のグループに分け、本学の音楽科の教員との協力体制のもと、学生一人ひとりが着実に力をつけていけるように手厚い指導をおこなっています。基礎技術だけでなく、学内公開の中間発表等を行い、「人前に立つ」ことを経験しています。また、今年度より新たに「子ども音楽療育士」の資格取得も選択できるようになりました。支

リズムダンス発表会



援が必要な子どもたちへの音楽を通じた関わりについて深く学ぶことで、保育者としての専門知識がさらに深まることが期待されます。

また今年度は、附属の野方幼稚園や近隣の保育園での交流、また地域の小中学生、さらには高齢者施設での交流など、学外での実践的な活動に力を入れていきます。少数での「ゼミナール」の授業だけでなく、実技系の授業のまとめとしての発表会や、学園祭における展示やステージ発表、その他様々な発表の場を持ちながら、保育者としての企画力・実践力・コミュニケーション力を身につけ、保育者としての資質を高めていきます。関係の皆様にも是非発表を見て頂き、子ども学科の学生の学びの成果を感じ取って頂けたらと思います。これからも子ども学科は元気に学んでいきます!!



子ども学科学科長補佐宮嶋郁恵

7月には、2年生の前期の授業「リズムダンス表現」の発表会をおこないました。

この授業ではグループごとに「子どもと一緒に楽しめるダンスを創作しており、衣装や小道具を工夫して準備を重ね、当日はそれぞれが個性で楽しいダンスを披露しました。

また、学外にも広報して近隣のお子さんたちにも見に来ていただきました。子どもたちが学生と一緒にリズムに乗って体を動かす可愛らしい姿がとても印象的で、学生の意欲もさらに高まったようでした。



地域交流



子どもの体育
「子どもの体育」の授業では、子どもたちと運動遊びを実践しました。



クリスマス会
近隣の子どもたちを招いてのクリスマス会。一緒にリースやツリーを作りました。



保育園との交流
「白雪姫」のオペレッタを子どもたちの前で披露しました。



キャンパスフェスタ
子ども学科ブースでは、子どもたちとユニット折り紙を楽しみました。



夏祭り
太宰府天満宮の夏祭りに手作りおみこしで参加しました。

幼稚園だより

野方幼稚園

学校法人九州学園
福岡女子短期大学附属



野方幼稚園
園長
坂本 良子

ご挨拶

福岡女子短期大学附属野方幼稚園は、今年度創立43年目を迎えました。本園は長年にわたって福岡女子短期大学の先生方による音楽や園芸などの専門教育指導や、学生さんと子どもたちのふれあいの場を設けていただいております。更に昨年サテライト教室が設置され、ゼミ活動として子ども学科の学生さんが本園に来て子どもたちと楽しく遊んでいただく機会が増えました。又、今年度6月の音楽科の先生によるミュージッキング体験や7月の音楽科の学生さんによる楽器演奏などで、子どもたちが多くの人と出会い楽しい経験ができたことは大変有意義であったと思います。

本園では、子どもたちが主体的にじっくりと遊びこんだり、友だちと一緒にのびのびと遊べるように、より良い環境を整える工夫をしています。遊びは学びであり、幼児期にのびのびと楽しく遊びこむ経験や、集団遊びの中で友だちと関わって遊ぶ経験は、大変重要です。このような経験をすることで、自分の思いを伝えること、折り合いをつけること、思いやりの気持ちをもつこと、道徳心や規範意識等、幼児期にこそ培ってほしい生きる力の土台となる様々なものをたくさん学んでほしいと思っています。

また、園生活の様々な活動や行事、専門講師による教育内容なども、当園の特色を

教育方針

幼児期は「遊び」を通して、他の子どもと関わり、考え、感じ、表現する力を育むことが出来る大切な時期です。本園では、のびのびとした環境の中で、主体的に遊び・学び合うことで心身ともに「強く、正しく、優しい」子どもに育てることをモットーに保育を行っています。発達段階に応じた内容で、一人ひとりの長所や豊かな才能を伸ばします。

サテライト教室

附属野方幼稚園内に福岡女子短期大学の「サテライト教室」を設置しています。学生と園児の交流会や地域の方を対象に大学教授による幼児教育・子育てに関する公開講座などを行っています。

園庭解放

子育て奮闘中のお母様方のコミュニケーションの場として園庭を開放する日を設けています。

野方幼稚園の特色

<p>基礎体力を身につける 体育</p>	<p>情操を豊かにする 音楽</p>	<p>自然とふれあう 園芸</p>
<p>いろいろな文化にふれる 英語</p>	<p>発達の段階に応じて理解していく 知識</p>	<p>表現を楽しむ 造形</p>



どんぐりクラブ(2歳児親子教室)について

本園では、子育て支援の環として、2歳児親子教室を開設しています。親子教室の体験で入園前のお子様は幼稚園に慣れていただくこと、保護者の皆様の親睦および情報交流の場となることも目的としています。

新たな幼稚園教育要領にも記されている、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をさらに意識して、今後も研修を重ねながら教員皆で、教育の質を高めていきたいと思えます。

そして、九州学園の建学の精神「強く、正しく、優しい」子どもに育つように願いを込めて、子どもたちが明るく元気なびのびと園生活を送れるように援助し、保育していきたいと思っています。

イベントカレンダー

<p>12月2日 8 生活発表会</p> <p>生活発表会を行いました。大勢のお客様の前での発表会は、緊張する子、逆にはりきる子と様々でした。どのクラスも、これまで先生やお友だちと力を合わせて創り上げてきた遊戯や劇を生懸命披露していました。</p>	<p>10月29日 7 ハロウィン</p> <p>英語教育の一環で、年長組がハロウィン「こそをしました。手作りのバッグ片手に、仮装して「Trick or Treat!」と言いつつ園内をパレードして、各ポイントでお菓子を貰いました。今日はお菓子を貰って大満足の子どもたちでした。</p>	<p>10月16日 6 芋掘り遠足</p> <p>芋掘り遠足に行きました。お芋が出てくるのを楽しみに、芋畑の土をどんどん掘り下げていくと、お芋の兄弟がいっぱい顔を出し、皆大喜び!!収穫の喜びを存分に味わった楽しい秋の日でした。</p>	<p>10月7日 5 第43回運動会</p> <p>第43回運動会を開催しました。かけっこや玉入れ、お遊戯やバレー、組体操など、日頃の練習の成果を元気にいっぱい披露してくれました。たくさん拍手と金メダルを貰い、自信に満ちた笑顔でいっぱいになりました!!</p>	<p>7月19日 4 お泊り保育</p> <p>年長組のお泊り保育がありました。スイカ割り、夏祭り「こそ」、盆踊りや花火、朝のお散歩等、大好きなお友達や先生達と一緒に何をやっても楽しくて大盛り上がりのお泊り二日でした。</p>	<p>6月15日 3 プール開き</p> <p>お天気に恵まれ、予定通りプール開きを行う事が出来ました。いざプールに入ると、水しぶきを上げて皆大喜びでした。自分たちで作った船や水鉄砲を試したり、水あそび用のおもちゃで遊んだり、素敵な笑顔がたくさん見られた一日でした!!</p>	<p>4月19日 2 対面式</p> <p>対面式を行い、全園児で初顔合わせをしました。新入園児も先生の話やパネルシアターを上手に聞くことが出来ました。年長組は歌を歌ってくれたり、手作りのたんぼのお花のペンダントを「なかくしようね」と言って首に掛けてくれました。</p>	<p>4月13日 1 入園式</p> <p>第43回入園式が行われました。チューリップや藤など沢山の花が咲き揃う中、大きめの制服に身を包んで、可愛い新入園児が入園しました。</p>
---	---	--	---	--	---	--	---



「学園祭の感想」

学園祭実行委員 委員長
田中 茉桜
(子ども学科2年)
鹿屋中央高校出身

今年「咲ーわらいーNO SMILE NO LIFE」というテーマ、コンセプトのもと学園祭実行委員会が中心となりみんなで1つのものをつくりあげました!!! 学園祭では全セクションと連携を取りつつ、学生のみならず情報共有・理解することがとても大変でした。

今年は新しい企画として地域の方々にも参加していただいた事で、学園祭をさらに盛り上げる事ができました!!

たくさんの方に足を運んでいただき、たくさんの方に助けていただき、無事に学園祭を終えることができました! 本当にありがとうございました!!



52th KAZAHAYA FESTIVAL

「学園祭の感想2」

学園祭実行委員 副委員長
山下 友梨亜
(音楽科2年)
鹿児島県立錦江湾高校出身

「第52回風早祭(学園祭)」は「咲ーわらいー」をテーマに開催しました。学園祭当日は忙しく、ハプニングなどありましたが、学園祭実行委員のみならず協力することが出来たので、来場者や学園祭実行委員も楽しめた学園祭になりました。風早祭(学園祭)を無事に成功出来たのもたくさんの方の支えがあることを感じました。ありがとうございました!!



学友会から:

学友会 会長 惣津 美穂
(子ども学科2年)
福岡県立博多青松高校出身

学友会の主な活動は、学友会メンバーとの会議や学生主体のイベント(クリスマス会・学園祭など)の企画・運営です。その他、太宰府市内の大学が合同で行っている「太宰府キャンパスネットワーク会議」の活動にも参加しました。

一番思い出になっているのは、私が初めて携わった「クリスマス会」です。最初は学科も異なるメンバーをひとつにまとめるのが大変でしたが、仕事を分担し、協力しあうことで楽しいイベントになりました。

4月からは1年生も加わって新体制となり、新しいことに挑戦するため「Chance」という目標を立てました!初めは1年生と2年生との交流が少なかったですが、「クリスマス会」で経験した「皆をまとめることの大切さ」が生かされ、学園祭などの学内イベントを通して、皆の目的意識が高まったと思います。

学友会活動では学友会メンバー全員で協力してきたことで充実した1年になりました。全学生、教職員の皆さんに感謝したいと思います!



学友会 副会長 松尾 紗也加
(音楽科2年)
佐賀県立武雄高校出身

学友会は、学園生活を楽しく送って貰えるよう、行事の準備などに取り組んでいます。毎月行われる会議の資料作りや様々な行事の準備はとても大変ですが、学生に楽しんでもらえ、行事が成功したときは心地よい達成感を味わうことができました。これからもこの経験を生かして頑張っていきたいと思っています。



保護者懇談会

9月16日(日)本学にて保護者懇談会を開催いたしました。参加いただいた保護者の皆さまのコメントを一部ご紹介いたします。

【健康栄養学科】

●話しやすく、色んなことが聞けて又先生方もしっかり子どもことを考えて指導して頂いていることを感じました。

【音楽科】

●教職員の方々に大変丁寧にご説明いただき参加してよかったです。就職活動の際、毎日のように熱心に指導して頂き、お蔭様で内定をいただき大変感謝しております。現在、教育実習中ですが、厳しいなか頑張っているのは先生方のご指導のおかげです。

【文化教養学科】

●先生方にいろんなアドバイスをいただき、子どもに対して前向きに接しているような気がしました。先生方やほかの保護者の方の話が聴けて勉強になりました。(娘が学校の事をあまり話してくれないので...)

【子ども学科】

●学長先生の学生に対する思いやりが伝わり嬉しく思いました。就職活動についての説明では、就職に対する親としての姿勢や子どもとの関わりなど、改めて考えさせられました。クラス別懇談会では、先生方の保護者に対する対応がとてもよく、熱心に指導されると感じました。これからも娘たちをよろしく願っています。

【子ども学科】

●学校の様子、楽しく過ごせている話を聞くことができて安心しました。就職のサポートもしっかりして下さっている話を聞くことができ安心しました。今後ともよろしく願っています。

【健康栄養学科】

●子ども学科、健康栄養学科、両方の懇談会に参加させていただきました。どちらも先生方みなさん熱心に子ども達を指導していただきありがとうございます。アットホームな学校で子ども達も先生方に相談しやすい雰囲気がよく伝わりました。

学校の声



教務部長
野口 誠司

「教育の質保証」

高大接続の重要性が問われる中、本学も教育改善を継続しています。その一つがアクティブ・ラーニングです。グループワーク等により、学生自身が課題を発見認識し、それに対応できる能力を獲得させる。言葉では簡単ですが、教員にも能力が必要になります。知識だけでは学生を指導できません。毎回授業の工夫が求められます。私達は、FD研修を行い、授業参観により他の先生の良いところを学び、日々改善の毎日です。教育の質保証も重要です。本学は、PDC Aサイクルを確実なものとする

るため、授業評価アンケートや学生実態調査、就職先アンケート等により、建学の精神が生かされているか、DPは確実に獲得されているかを精査し、学生が有意義に学べるよう、そして内部質保証が確実なものとなるよう努力を続けております。学生が授業で何を学べば良いのか。何が獲得できるのか。それを指し示すのは、シラバスです。次年度は、毎回の授業内容や事前事後学習内容・時間数などをより詳しく書き込み、福女短で学べて良かったーと学生が満足できる短大でありたいと思います。



学生部長
永利 和則

「正課外活動を支えていくこと」

昨年から本学に勤めるようになって実感したことは、短大生の学生生活は本当に短くて、慌ただしいということ。入学式を終えると、2年後の進路を考えて履修登録を行い、多くの学生がほとんど空き時間のない時間割で、毎日授業を受けています。また、資格取得を目指す学生は、幼稚園、保育園、学校、施設、事業所、図書館などの施設で数週間の実習に臨みます。さらに、学費や生活費を奨学金とアルバイトで賄っている学生も珍しくありません。しかし、そのような忙しい時間を

縫って、部活動や学友会活動に力を注いでいる学生たちも数多くいます。また、太宰府市等の地域行事にボランティアとして参加している学生もいると聞きます。一方、授業が終われば大学に残らず帰ってしまう学生も増え、以前のような部活動の勢いは失われたとも言われています。学生数が少なくなった今日、往年のような活動を保つことは難しいかもしれません。正課外の活動でがんばっている彼女たちの姿にサポートが当たるような仕組みを考えていきたいと思っています。

奨学生

釜瀬富士雄記念奨学生

【受給資格】

本学の創設者「釜瀬富士雄氏」の遺徳を記念して設けた本学独自の奨学制度です。人物・学業ともに優秀な学生を選考のうえ採用します。



健康栄養学科 村橋 佳奈
宮崎県立宮崎大宮高校出身
音楽科 田中 花音
福岡県立朝倉高校出身
文化教養学科 結城 ほのか
福岡県立福岡魁誠高校出身
子ども学科 猪口 鈴菜
熊本県立天草工業高校出身

開学50周年記念奨学生



健康栄養学科 野國 礼未
沖縄県立那覇南高校出身
健康栄養学科 南 汐里
山口県立下松高校出身
健康栄養学科 矢羽田 楓乃
大分県立玖珠美山高校出身
音楽科 木下 七重
山口県立小野田高校出身
文化教養学科 國武 伶衣
福岡県立久留米筑水高校出身
子ども学科 川上 珠莉愛
熊本市立千原台高校出身
子ども学科 草場 咲希
久留米市立久留米商業高校出身
子ども学科 富田 詩穂
熊本県立熊本農業高校出身
子ども学科 森 花音
福岡県立小倉商業高校出身

公開講座

ステップアップ家庭菜園
＜前期＞5月9日（水）～7月25日（水）毎週水曜日 全12回
＜後期＞9月26日（水）～1月23日（水）隔週水曜日 全8回
学内園場
中元博明 講師（子ども学科）

はじめての家庭菜園
＜前期＞5月9日（水）～7月25日（水）毎週水曜日 全12回
＜後期＞9月26日（水）～1月23日（水）隔週水曜日 全8回
学内園場
中元博明 講師（子ども学科）

そだてて食べよう
6月2日（土）・11月3日（土）
保育実習室および学内園場
中元博明 講師（子ども学科）

季節を感じる食体験をしよう①（夏野菜を使ったピザ編）
6月2日（土）
調理学実習室
野村幸子 講師（健康栄養学科）

風早コンサート
6月10日（日）
太宰府市文化ふれあい館
音楽科在学学生

管理栄養士国家試験対策講座
8月26日（日）・9月23日（日）・10月13日（土）・11月4日（日）
11月18日（日）・11月25日（日）・12月16日（日）・1月26日（土）
123教室
健康栄養学科教員および外部講師

続・伊能忠敬が歩いた太宰府（座学）
10月3日（水）
135教室
野澤秀樹 理事長



続・伊能忠敬が歩いた太宰府（実地講座）
10月10日（水）
西鉄五条駅～太宰府天満宮
野澤秀樹 理事長
味酒安則氏（太宰府天満宮 欄宜・学芸員）

生活習慣病をよく理解し健康寿命を延ばそう
11月14日（水）
135教室
福嶋伸子 教授（健康栄養学科）
宮嶋郁恵 教授（子ども学科）
藤 啓子氏（医療法人順和 長尾病院 薬剤科 薬剤師）

季節を感じる食体験をしよう（クリスマス編）
12月22日（土）
調理学実習室
野村幸子 講師（健康栄養学科）

たのしい味噌づくり
1月9日（水）
222教室
岡本啓湖 教授（健康栄養学科）

季節を感じる食体験をしよう（バレンタイン編）
2月3日（日）
調理学実習室
野村幸子 講師（健康栄養学科）

きゅーはくカフェコンサート
金曜日（不定期）
九州国立博物館1階
エントランスホールオープンカフェ
音楽科在学学生・卒業生



風早会主催講座
深川富美代先生「チャームな生き方」



短大同窓会である風早会は、卒業生約二万八千名からなる組織です。

毎年開催する総会と懇親会は、西鉄グランドホテルで開催、多くの卒業生と先生方においていただきました。今年度は、短大開学を振り返ってDVDを作成、それぞれの時代を振り返っていただきました。

また、若い世代の卒業生とのつながりとして卒業生交流会や学科の卒業生向けの講座を支援するなどの活動をはじめました。さらに、昨年度より風早会主催講座を復活し、卒業生だけで



・風早会総会・懇親会で理事長、学長との交流（西鉄グランドホテル）



なく、地域の方々にも喜んでいただけるものを今後も企画していきます。今後は、ホームページを充実し、卒業生の情報と母校の様子がタイムリーに伝えられるものになります。

風早会は卒業生と母校をつなぐ架け橋になるよう努めています。



福岡女子短期大学 ハンドボール部



快挙!! 2年連続全国大会出場

福岡女子短期大学ハンドボール部は、木下監督のもと、1年生5名が加わり・創部2年目を迎えました。



平成30年4月29日(日)～5月3日(木・祝)に福岡市内で開催「平成30年度九州学生ハンドボールリーグ春季大会(女子1部)」では、**4勝1敗で準優勝(2位)**

【女子1部リーグ結果】	【勝敗】	【表彰】
4/29(日) 福女短 23-14 西南大	優勝 福岡大 5勝	女子1部
4/30(月) 福女短 17-14 名桜大	2位 福女短 4勝1敗	優秀選手 赤塚 未菜
5/1(火) 福女短 22-17 琉球大	3位 熊本大 3勝2敗	牧 遥花
5/2(水) 福女短 27-15 熊本大	4位 名桜大 2勝3敗	
5/3(木) 福女短 13-32 福岡大	5位 琉球大 1勝4敗	
	6位 西南大 5敗	



平成30年8月26日(日)～8月30日(木)まで沖縄県で開催「平成30年度九州学生ハンドボールリーグ秋季大会(女子1部)」では、4勝1敗で準優勝(2位)
「平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会」への出場権を獲得



【女子1部リーグ結果】	【勝敗】	【表彰】
8/26(日) 福女短 18-14 名桜大学	優勝 福岡大 5勝	女子1部
8/27(月) 福女短 28-13 熊本大	2位 福女短 4勝1敗	優秀選手 中村 涼夏
8/28(火) 福女短 24-20 琉球大	3位 名桜大 2勝2敗1分	坂田 鈴央
8/29(水) 福女短 27-14 冲国大	4位 琉球大 2勝3敗	
8/30(木) 福女短 17-32 福岡大	5位 熊本大 1勝3敗1分	
	6位 冲国大 5敗	



平成30年11月10日(土)～14日(水)石川県金沢市で開催された「高松宮記念杯女子第54回 平成30年度全日本学生ハンドボール選手権大会」に**2年連続出場しました。**

【1回戦】福岡女子短期大学(九州) 13-34 東京女子体育大学(関東)

平成30年度 行事日程

福岡女子短期大学	
年月日	日程
平成30年4月2日	入学式
4月3日～4月4日	新入生オリエンテーション期間
4月5日	前期講義開始日
5月16日	高校連絡会
5月20日	オープンキャンパス(第1回)
6月1日	開学記念日
6月24日	音楽講習会
7月7日	風早七夕祭(風早寮)
7月15日	オープンキャンパス(第2回)
7月28日	オープンキャンパス(第3回)
7月30日～8月3日	前期定期試験期間
8月10日	オープンキャンパス(第4回)
8月11日～8月16日	夏季休業期間
8月18日	オープンキャンパス(第5回)
8月27日	前期成績郵送日
9月17日～9月19日	前期追再試験期間
9月16日	保護者懇談会(会場: 本学)
9月20日	後期オリエンテーション
9月21日	後期講義開始日
9月30日	音楽講習会
10月26日	学園祭準備日

10月27日・28日	第52回風早祭
10月29日	学園祭後片づけ日(終日休講)
12月6日	第2回音楽科未来へのコンサート(アクロス福岡シンフォニーホール)
12月14日	風早聖夜祭(風早寮)
12月25日～1月6日	冬季休業期間
平成31年	後期定期試験期間
1月28日～2月1日	後期成績発表日
2月18日	後期追再試験期間
2月20日～2月22日	第48回音楽科卒業演奏会
3月11日	学位記授与式(卒業式)
3月15日	春のオープンキャンパス

福岡女子短期大学附属野方幼稚園	
年月日	日程
平成30年4月13日	入園式
4月19日	対面式
5月17日	親子遠足
6月15日	プール開き
6月17日	保育参観(ファミリーデー)
6月26日	フィンガーペインティング

7月5日	七夕誕生会
7月11日	音楽小発表会
7月19日	お泊り保育
9月18日	老人福祉施設敬老祭
10月7日	第43回 運動会
10月16日	芋掘り遠足
10月18日	園外巡り
10月20日	バザー(キラリン★フェスタ)
10月25日	お店屋さんごっこ
10月29日	ハロウィン
11月28日	おすもう大会
12月2日	生活発表会
12月13日	クリスマス誕生会
平成31年1月15日	郵便ごっこ
2月9日	音楽発表会
2月15日	マラソン・ドッチボール大会
2月19日	お別れ遠足
2月22日	なわとび大会
3月1日	ひなまつり誕生会
3月5日	茶話会
3月11日	お別れ会
3月14日	卒園式

編集後記

本号を発行するにあたりご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。
今回は特集として「本学教員の活動について」を音楽科2名の教員で執筆させていただきました。普段、私達は「音楽＝演奏」で自分達の想いを表現していますが、今回文章として書く機会をいただき「私たちの活動が常に本学教育に貢献できるようなものでありたいという想い」を改めて強く感じました。本学には魅力的な教員が多くいます。今後も特集で本学教員の魅力を皆さまに感じ取っていただければ幸いです。

広報委員長 桑原哲章

編集・発行/学校法人九州学園
制作・印刷/株式会社ニッポン印刷
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅前6-17-12
TEL(092)292-0300/FAX(092)483-9089

福岡女子短期大学
〒818-0193
福岡県大牟田市五条四丁目16番1号
TEL(092)922-4034(代)/FAX(092)922-6453

福岡女子短期大学附属野方幼稚園
〒819-0042
福岡県福岡市西区香坂団地75番1号
TEL(092)811-3585/FAX(092)812-5554

附属野方幼稚園: <http://www.fukuoka-wic.ac.jp>
<http://nokatayouchien.main.jp>